令和５年度（２０２３年度）八代高等学校シラバス

教　科	保健体育	科　目	保健
学年・類型	１学年・全	単位数	1
教科書	現代高等保健体育		
副教材	現代高等保健体育ノート		
科目目標	個人及び集団の生活における健康安全管理についての理解を深め、健康に関する問題を自主的に解決する能力や態度を高めて、心身の調和的な発達を図る。 生涯を通じて健康課題に応じた自己の健康管理や環境づくりに寄与し、健康的な社会環境づくりを実践できる資質や能力を育成する。		
学習方法	教科書や副教材を活用し、知識をしっかりと身につける。さらにグループ学習や発表を通して意見交換を行い、思考力・判断力・表現力を身につけ知識を深める。自ら調べ学習に取り組み、知識の深化を行う。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・現代社会と健康、安全な社会生活とその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解をしている。 ・現代社会と健康、安全な社会生活について、健康を保持増進する技能を身につけ、実践することができる。	・健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができる。 ・健康の保持増進について、その時々の目的や状況に応じて他者に伝える力を身につけている。	・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を実践しようとしている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①定期考査（知識技能の問題） ②授業への取り組み状況	①定期考査（思考判断表現の問題） ②課題プリントの取り組み状況 ③授業への取り組み状況	①ノートや課題プリントへの取り組み、提出状況 ②授業への取り組み状況

各学期及び学年の成績算出方法について
観点別評価 知識・技能　４０％ 思考・判断・表現　３０％ 主体的に学習に取り組む態度　３０％

学期	学習内容	評価規準（到達目標Ｂ規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1学期	(1)健康の考え方と成り立ち (02)私たちの健康のすがた (03) 生活習慣病の予防と回復 (04)がんの原因と予防 (05)がんの治療と回復 (06) 運動と健康 (07) 食事と健康 (08)休養・睡眠と健康	□ 健康には多様な考え方があること、また、健康の成り立ちには様々な要因があることを理解している。 □ わが国の健康水準の変化とその背景について理解している。 □ 生活習慣病には多くの種類があること、がんの種類も多くあり、多様な要因があることを理解している。また、生活習慣病やがんには多くの治療法があることを理解している。 □ 健康と運動の関係について理解し、実践できる。 □ 食事と健康の関係について理解し、健康を考えた食事を実践できる。 □ 健康と休養・睡眠について適切な取り方を理解し、実践できる。	□ 自分の健康に関する考えを持ち、説明することができる。 □ わが国の健康問題を例を上げて説明することができる。 □ 生活習慣病の予防法、がんの予防法について例を挙げて説明することができる。 □ 目的に応じた健康的な運動の仕方について例を挙げて説明することができる。 □ 健康的な食事の取り方について、自分に合った食事の方法を説明することができる。 □ 健康的な休養・睡眠の取り方について、自分に合った方法を説明することができる	□ 健康の考え方や成り立ち、わが国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 □ 生活習慣病やがんの予防、治療、回復について、課題解決に向け主体的に取り組もうとしている。 □ 運動、食事、休養、睡眠と健康について、課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	知① 知② 思① 思② 思③ 主① 主②
2学期	(09) 喫煙と健康 (10) 飲酒と健康 (11)薬物乱用と健康 (12)精神疾患の特徴 (13)精神疾患の予防 (14)精神疾患からの回復	□ 喫煙者やその周囲の人に起こる害について理解している。 □ 飲酒による健康への短期的影響や長期的影響を理解している。 □ 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解し、薬物乱用防止の対策について理解している。 □ 精神疾患の発病の要因や症状について理解している。また、その予防や治療についても理解している。	□ 喫煙対策について個人と社会に分けて例を挙げて説明することができる。 □ 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例を挙げて説明することができる。 □ 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。 □ 現代社会における精神保健の課題を挙げることができる。また、精神疾患の早期発見や適切な治療や回復にはどのような社会環境が必要か説明することができる。	□ 喫煙、飲酒と健康について課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 □ 薬物乱用と健康について課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 □ 精神疾患の特徴、予防、回復について課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	知① 知② 思① 思② 思③ 主① 主②

	(15)現代の感染症 (16)感染症の予防 (17) 性感染症･エイズとその予防 (18) 健康に関する意志決定･行動選択と環境づくり (19)健康に関する環境づくり	□ 感染症について潜伏期間や感染力を含めて理解している。 □ 感染症の予防対策について理解し、実践できる。 □ 性感染症とエイズがほかの感染症と異なる点を理解している。 □ 意思決定･行動選択に影響を与える要因について理解している。 □ 社会環境の健康への影響について理解している。	□ 新興感染症や再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明することができる。 □ 感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明することができる。 □ 性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげ説明することができる。 □ 健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげ説明することができる。 □ ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明することができる。	□ 現代の感染症やその予防、性感染症・エイズについて課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 □ 健康に関する意思決定・行動選択について課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 □ 健康に関する環境づくりについて課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
3学期	(01)事故の現状と発生要因 (02)安全な社会の形成 (03)交通における安全 (04)応急手当の意義とその基本 (05)日常的な応急手当 (06)心肺蘇生法	□ 事故の実態と被害の実態について理解している。 □ 安全のための必要な個人の行動について理解している。 □ 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について理解している。 □ 応急手当の意義について理解している。 □ 日常的なケガや熱中症の応急手当の手順や方法について理解しており、実践することができる。 □ 心肺蘇生法の方法と手順について理解しており、実践することができる。	□ 事故の発生状況を考え、人的要因や環境要因など原因を分析することができる。 □ すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について説明することができる。 □ 交通事故における責任を 3 つに分けて説明することができる。 □ 傷病者を発見したときに確認・観察ポイントを上げることができる。 □ 日常的なケガや熱中症の応急手当の手順や方法について説明することができる。 □ 心肺蘇生法の方法や手順について説明することができる。	□ 事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通における安全について、課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 □ 応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当、心肺蘇生法について課題解決に向け主体的に取り組もうとしている。	知① 知② 思① 思② 思③ 主① 主②